

2004 年度（平成 16 年度）宇都宮大学重点研究プロジェクト

「地域社会と大学資源の相互活用方策をめぐる調査研究」

宇都宮大学と地域スポーツ・文化活動組織との相互連携モデルの構築

< 研究報告書 >

研究代表者

中村祐司（宇都宮大学国際学部教授）

研究分担者

廣瀬隆人（生涯学習教育研究センター教授）

加藤謙一（宇都宮大学教育学部助教授）

森本章倫（宇都宮大学工学部助教授）

山根健治（宇都宮大学農学部助教授）

野口良造（宇都宮大学農学部助教授）

2005 年 3 月

<本報告書の概要>

本報告書の内容は大きく以下の三つの実績からなる。

第一の実績は、学外において広く地域住民に本研究の存在と研究活動、さらには大学と住民との連携構築の契機となることを目指し、宇都宮市民大学専門講座「心と身体の健康を支える地域づくり」を04年12月2日から05年1月12日にわたって、合計7回実践したことである。

「総合型地域スポーツクラブの研究」(04年12月2日)、「宇都宮市民は歩いているか」(同7日)、「事例研究 ハピスカとよさかの実践」(同9日)、「植物や園芸による癒し」(同14日)、「心と身体の健康のために」(05年1月11日)、「地域スポーツ活動 市民と行政の連携」(同13日)、「市民農園の現状と将来」(同21日)といったようにその内容は多岐に及んだ。しかし、そこには学部横断の学際的プロジェクトによる心と身体の健康を創造する、地域社会の形成を目指す研究の成果を講座という形で提供するねらいがあった。言い換えれば、多彩な研究者集団による研究成果を生かした地域提案型の講座を実施したことになる。

第二の実績は、宇都宮大学峰が丘祭(05年11月21日～11月23日)期間における2日間(11月21日と23日)を利用して、「宇都宮大学とこどもたち こどもたちに親しまれる大学キャンパス環境の創出を目指して」というテーマで、大学と地域連携の在り方を探る実践活動を行ったことである。研究代表者・研究分担者の各研究室に所属する院生・学生が有する「資源」と大学キャンパスそのものが有する「資源」とを融合させ、それをこどもたちとの交流を通じて地域社会に還元しようとする試みであった。

「うつのみやフレンドパーク」(大学キャンパス内をコースとするウオークラリー)、「ミニスポーツ大会」(大学グラウンドを利用したドッジボール、サッカー、縄跳びなど)、「英会話教室」(留学生による遊びを通じた英会話指導)、「芸術の秋を満喫しよう」(大学キャンパスで取れたどんぐりや松ぼっくりを用いたオブジェづくり)、「3D・VR シミュレーション」(パソコン・プロジェクター画面を通じた宇都宮市新交通システムの仮想体験)、「ITくわの製作」(健康増進につながる数値が表示可能なコンピュータ機能が付随したくわの試作品)を通じて、キャンパスを訪れたこどもたちの交流という貴重な社会的実験がなされた。

第三の実績は、こどもたちと関わるボランティア活動をめぐる宇都宮市内全域に及ぶ本格的な調査研究の成果を活字としてまとめたことである。すなわち、「小学校における運動遊び・スポーツ指導に関するボランティア活動のニーズ調査 宇都宮市の小学生を対象として」、「小学校における運動遊び・スポーツ指導に関するボランティア活動のニーズ調査 宇都宮市の小学校教員を対象として」を研究雑誌『子どもと発育発達』第2巻第4号及び第5号に掲載した。

その結果、宇都宮市の多くの小学生は放課後や休日では同じ年の友達と室内遊びを行っている一方で、大学生と運動遊びをすることにも興味を示していることが明らかになった。また、市の多くの小学校教員が大学生のボランティア活動を望んでいることも浮き彫りになった。

中村祐司

2004 年度（平成 16 年度）宇都宮大学重点研究プロジェクト
「地域社会と大学資源の相互活用方策をめぐる調査研究」
宇都宮大学と地域スポーツ・文化活動組織との相互連携モデルの構築

・本報告書の概要と構成 (p.1.)

中村祐司

・宇都宮市民大学専門講座「心と身体の健康を支える地域づくり」の実施(p.3.)

1 . 協働をめぐるいくつかの問題 宇都宮市の協働推進指針をめぐる (p.4.)

廣瀬隆人

2 . 宇都宮市民大学講座「心と身体の健康を支える地域づくり」の実践(p.8.)

廣瀬隆人

・宇都宮大学峰が丘祭における社会的実験 (p.16)

1 . 子どもの植物遊びとキャンパスの植物資源 (p.17.)

山根健治・藤林希美・田中優華・鈴木洋之・朴昭英

2 . 将来の循環型地域社会における農業機械・農具の展望仮説 次世代耕耘農具「IT クワ」
の製作を通じて (p.21.)

野口良造

3 . 3次元VRによる都市交通のシミュレーション体験 (p.25.)

森本章倫・河野友彦

4 . 「地域社会と大学資源の相互活用方策」の社会的実験を実施して (p.28.)

中村祐司・04 年度行政学研究室 4 年生・院生

資料:当日の写真(p.38.)、パンフ 1 (p.39.)、パンフ 2 (p.44)、親からの感想事例(p.45.)

・子どもたちの運動遊びとスポーツ指導を通じたボランティア活動
(p.37.)

1 . 小学校における運動遊び・スポーツ指導に関するボランティア活動のニーズ
調査 宇都宮市の小学生を対象として (p.46.) *抜刷発行済

加藤謙一

2 . 小学校における運動遊び・スポーツ指導に関するボランティア活動のニーズ
調査 宇都宮市の小学校教員を対象として(p.58.) *抜刷発行済

加藤謙一